

授業科目 Course Title		初級総合日本語 I		担当教員 Instructor	
開講時期 Term		前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態		講義・演習 実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes		週 5 日・17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40	実務経験（ 有 ・ 無 ） 実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やペア活動、記述式の練習を多く行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験 N5/CEFR A1～A2 程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる。相手がゆっくり、はっきり話してくれたら簡単なコミュニケーションが日本語でできる。簡単な文章が読み書きできる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	サバイバル日本語会話の練習／文字指導（『かなマスター』によるひらがな・カタカナ）				
第 2 週/ Week 2	『みんなの日本語 I』第 1 課～第 2 課／かな復習、『漢字たまご 初級』漢字のきほん、第 1 課				
第 3 週/ Week 3	『みんなの日本語 I』第 3 課～第 4 課／『漢字たまご 初級』第 2 課				
第 4 週/ Week 4	『みんなの日本語 I』第 5 課～第 6 課／『漢字たまご 初級』第 3 課				
第 5 週/ Week 5	『みんなの日本語 I』第 7 課～第 8 課／『漢字たまご 初級』第 4 課				
第 6 週/ Week 6	『みんなの日本語 I』第 9 課～第 10 課／『漢字たまご 初級』第 4 課②				
第 7 週/ Week 7	『みんなの日本語 I』第 11 課～第 12 課／『漢字たまご 初級』第 5 課①				
第 8 週/ Week 8	『みんなの日本語 I』第 13 課、第 1 課～第 13 課復習／『漢字たまご 初級』第 5 課②				
第 9 週/ Week 9	『みんなの日本語 I』第 14 課～第 15 課／『漢字たまご 初級』第 6 課①				
第 10 週/ Week 10	『みんなの日本語 I』第 16 課～第 17 課／『漢字たまご 初級』第 6 課②				
第 11 週/ Week 11	『みんなの日本語 I』第 18 課～第 19 課／『漢字たまご 初級』第 7 課①				
第 12 週/ Week 12	『みんなの日本語 I』第 14 課～第 19 課復習、第 20 課／『漢字たまご 初級』第 7 課②				
第 13 週/ Week 13	『みんなの日本語 I』第 21 課～第 22 課／『漢字たまご 初級』第 8 課①				
第 14 週/ Week 14	『みんなの日本語 I』第 23 課～第 24 課／『漢字たまご 初級』第 8 課②				
第 15 週/ Week 15	『みんなの日本語 I』第 25 課、第 21 課～第 25 課復習／『漢字たまご 初級』第 9 課①				
第 16 週/ Week 16	『みんなの日本語 I』総復習／『漢字たまご 初級』第 9 課②				
第 17 週/ Week 17	『みんなの日本語 I』期末試験／『漢字たまご 初級』期末試験				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『みんなの日本語 初級 I 第 2 版』関連教材 （本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、文型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック） 『かなマスター』『漢字たまご初級』					
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5 課ごとに「会話」の試験、2 課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべて A～E で評価される。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title		初級総合日本語Ⅱ		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経験（ 有 ・ 無 ）	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	週 5 日・17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やペア活動、タスク活動、記述式の練習を多く行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験 N4～N3／CEFR A2～B1 程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について日本語でコミュニケーションができるようになる。また、簡単な文章が読み書きできるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『みんなの日本語Ⅰ』第 25 課までの総復習／『漢字たまご初中級』楽しく覚えよう、第 1 課前半				
第 2 週/ Week 2	『みんなの日本語Ⅱ』第 26 課～第 27 課／『漢字たまご初中級』第 1 課後半				
第 3 週/ Week 3	『みんなの日本語Ⅱ』第 28 課～第 29 課／『漢字たまご初中級』第 2 課				
第 4 週/ Week 4	『みんなの日本語Ⅱ』第 30 課～第 31 課／『漢字たまご初中級』第 3 課				
第 5 週/ Week 5	『みんなの日本語Ⅱ』第 26 課～第 31 課復習、第 32 課／『漢字たまご初中級』第 4 課				
第 6 週/ Week 6	『みんなの日本語Ⅱ』第 33 課～第 34 課／『漢字たまご初中級』第 5 課				
第 7 週/ Week 7	『みんなの日本語Ⅱ』第 35 課～第 36 課／『漢字たまご初中級』第 6 課				
第 8 週/ Week 8	『みんなの日本語Ⅱ』第 37 課、第 32 課～第 37 課復習／『漢字たまご初中級』第 7 課				
第 9 週/ Week 9	『みんなの日本語Ⅱ』第 38 課～第 39 課／『漢字たまご初中級』第 8 課				
第 10 週/ Week 10	『みんなの日本語Ⅱ』第 40 課～第 41 課／『漢字たまご初中級』第 9 課				
第 11 週/ Week 11	『みんなの日本語Ⅱ』第 42 課～第 43 課／『漢字たまご初中級』第 10 課				
第 12 週/ Week 12	『みんなの日本語Ⅱ』第 44 課～第 45 課／『漢字たまご初中級』第 11 課				
第 13 週/ Week 13	『みんなの日本語Ⅱ』第 46 課～第 47 課／『漢字たまご初中級』第 12 課				
第 14 週/ Week 14	『みんなの日本語Ⅱ』第 48 課～第 49 課／『漢字たまご初中級』第 13 課				
第 15 週/ Week 15	『みんなの日本語Ⅱ』第 50 課、第 38 課～第 50 課復習／『漢字たまご初中級』第 14 課				
第 16 週/ Week 16	『みんなの日本語Ⅱ』総復習／『漢字たまご初中級』第 15 課				
第 17 週/ Week 17	『みんなの日本語Ⅱ』期末試験／『漢字たまご初中級』総復習				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『みんなの日本語 初級Ⅱ 第 2 版』関連教材（本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、文型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック）、『漢字たまご初中級』					
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5 課ごとに「会話」の試験、2 課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべて A～E で評価される。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title	初級総合日本語Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	週 5 日・17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やタスク課題、記述式の練習を多く行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験 N4～N3／CEFR A2～B1 程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について日本語でコミュニケーションができるようになる。また、簡単な文章が読み書きできるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	『みんなの日本語Ⅰ』第 25 課までの総復習／『漢字たまご初中級』楽しく覚えよう、第 1 課前半			
第 2 週/ Week 2	『みんなの日本語Ⅱ』第 26 課～第 27 課／『漢字たまご初中級』第 1 課後半			
第 3 週/ Week 3	『みんなの日本語Ⅱ』第 28 課～第 29 課／『漢字たまご初中級』第 2 課			
第 4 週/ Week 4	『みんなの日本語Ⅱ』第 30 課～第 31 課／『漢字たまご初中級』第 3 課			
第 5 週/ Week 5	『みんなの日本語Ⅱ』第 26 課～第 31 課復習、第 32 課／『漢字たまご初中級』第 4 課			
第 6 週/ Week 6	『みんなの日本語Ⅱ』第 33 課～第 34 課／『漢字たまご初中級』第 5 課			
第 7 週/ Week 7	『みんなの日本語Ⅱ』第 35 課～第 36 課／『漢字たまご初中級』第 6 課			
第 8 週/ Week 8	『みんなの日本語Ⅱ』第 37 課、第 32 課～第 37 課復習／『漢字たまご初中級』第 7 課			
第 9 週/ Week 9	『みんなの日本語Ⅱ』第 38 課～第 39 課／『漢字たまご初中級』第 8 課			
第 10 週/ Week 10	『みんなの日本語Ⅱ』第 40 課～第 41 課／『漢字たまご初中級』第 9 課			
第 11 週/ Week 11	『みんなの日本語Ⅱ』第 42 課～第 43 課／『漢字たまご初中級』第 10 課			
第 12 週/ Week 12	『みんなの日本語Ⅱ』第 44 課～第 45 課／『漢字たまご初中級』第 11 課			
第 13 週/ Week 13	『みんなの日本語Ⅱ』第 46 課～第 47 課／『漢字たまご初中級』第 12 課			
第 14 週/ Week 14	『みんなの日本語Ⅱ』第 48 課～第 49 課／『漢字たまご初中級』第 13 課			
第 15 週/ Week 15	『みんなの日本語Ⅱ』第 50 課、第 38 課～第 50 課復習／『漢字たまご初中級』第 14 課			
第 16 週/ Week 16	『みんなの日本語Ⅱ』総復習／『漢字たまご初中級』第 15 課			
第 17 週/ Week 17	『みんなの日本語Ⅱ』期末試験／『漢字たまご初中級』総復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『みんなの日本語 初級Ⅱ 第 2 版』関連教材（本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、文型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック）、『漢字たまご初中級』				
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5 課ごとに「会話」の試験、2 課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべて A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	N 1 文字・語彙 I		担当教員	氏名/Name	
			Instructor	実務経験（ 有 ・ 無 ）	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N2～N1 レベル（CEFR B2）の日本語の文字・語彙を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
日本語能力試験 N2～N1（CEFR B2）レベルの文字・語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。また、実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N1 の試験への対策を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N2～N1 レベル（CEFR B2）の文字・語彙の半数程度が運用できるようになる。日本語能力試験 N1 の文字・語彙問題が半数程度解答できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『N 1 語彙スピードマスター』 1～2／『漢字たまご中級』 第 7 課 1				
第 2 週/ Week 2	『N 1 語彙スピードマスター』 3～4／『漢字たまご中級』 第 7 課 2				
第 3 週/ Week 3	『N 1 語彙スピードマスター』 5～6／『漢字たまご中級』 第 7 課 3				
第 4 週/ Week 4	『N 1 語彙スピードマスター』 7～8／『漢字たまご中級』 第 7 課 4				
第 5 週/ Week 5	『N 1 語彙スピードマスター』 9～10／小テスト『漢字たまご中級』 第 8 課 1				
第 6 週/ Week 6	『N 1 語彙スピードマスター』 11～12／『漢字たまご中級』 第 8 課 2				
第 7 週/ Week 7	『N 1 語彙スピードマスター』 13～14／『漢字たまご中級』 第 8 課 3				
第 8 週/ Week 8	『N 1 語彙スピードマスター』 15～16／『漢字たまご中級』 第 8 課 4				
第 9 週/ Week 9	『N 1 語彙スピードマスター』 17～18／小テスト『漢字たまご中級』 第 9 課 1				
第 10 週/ Week 10	『N 1 語彙スピードマスター』 19～20／『漢字たまご中級』 第 9 課 2				
第 11 週/ Week 11	『N 1 語彙スピードマスター』 21～22／『漢字たまご中級』 第 9 課 3				
第 12 週/ Week 12	『N 1 語彙スピードマスター』 23～24／『漢字たまご中級』 第 9 課 4				
第 13 週/ Week 13	『N 1 語彙スピードマスター』 25～26／小テスト『漢字たまご中級』 第 10 課 1				
第 14 週/ Week 14	『N 1 語彙スピードマスター』 27～28／『漢字たまご中級』 第 10 課 2				
第 15 週/ Week 15	『N 1 語彙スピードマスター』 29～30／『漢字たまご中級』 第 10 課 3				
第 16 週/ Week 16	『N 1 語彙スピードマスター』 31～33／『漢字たまご中級』 第 10 課 4				
第 17 週/ Week 17	期末試験ならびに期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『N 1 語彙スピードマスター』『漢字たまご 中級』					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。漢字は 1 課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	N 1 聴解・発音 I		担当教員 Instructor	氏名/Name	
				実務経験（ 有 ・ 無 ）	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	週 3 回 17 週	授業時間 Class Hours	1 回につき 50 分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N1（CEFR B2）レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N1 の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N1（CEFR B2）レベルの会話や談話の聞き取りの力が向上し、日本語能力試験 N1 の聴解問題が半分程度解答できるようになる。N1（CEFR B2）レベルの文法や語彙を用いた文章の読み上げや会話が自然に発音できることを目指す。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『ドリル&ドリルN 1 聴解』課題理解／『できる日本語 中級』10 課				
第 2 週/ Week 2	『ドリル&ドリルN 1 聴解』課題理解／『できる日本語 中級』10 課、チェック				
第 3 週/ Week 3	『ドリル&ドリルN 1 聴解』ポイント理解／『できる日本語 中級』11 課				
第 4 週/ Week 4	『ドリル&ドリルN 1 聴解』ポイント理解／『できる日本語 中級』11 課、チェック				
第 5 週/ Week 5	『ドリル&ドリルN 1 聴解』ポイント理解／『できる日本語 中級』12 課				
第 6 週/ Week 6	『ドリル&ドリルN 1 聴解』概要理解／『できる日本語 中級』12 課、チェック				
第 7 週/ Week 7	『ドリル&ドリルN 1 聴解』概要理解／『できる日本語 中級』13 課				
第 8 週/ Week 8	『ドリル&ドリルN 1 聴解』概要理解／『できる日本語 中級』13 課、チェック				
第 9 週/ Week 9	『ドリル&ドリルN 1 聴解』即時応答／『できる日本語 中級』14 課				
第 10 週/ Week 10	『ドリル&ドリルN 1 聴解』即時応答／『できる日本語 中級』14 課、チェック				
第 11 週/ Week 11	『ドリル&ドリルN 1 聴解』即時応答／『できる日本語 中級』15 課				
第 12 週/ Week 12	『ドリル&ドリルN 1 聴解』即時応答／『できる日本語 中級』15 課、チェック				
第 13 週/ Week 13	『ドリル&ドリルN 1 聴解』統合理解／『できる日本語 中級』16 課				
第 14 週/ Week 14	『ドリル&ドリルN 1 聴解』統合理解／『できる日本語 中級』16 課、チェック				
第 15 週/ Week 15	『ドリル&ドリルN 1 聴解』統合理解／『できる日本語 中級』17 課				
第 16 週/ Week 16	総復習 期末試験				
第 17 週/ Week 17	期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『ドリル&ドリル日本語能力試験 N 1 聴解読解』、『できる日本語 中級』各課の会話やモノログ部分を使用する					
成績評価 / Evaluation					
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title		N2 文法 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term		前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経験（有・無）
授業形態		講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes		34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N2（CEFR B2）レベルの日本語の文法知識を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
日本語能力試験 N2（CEFR B2）レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。また、実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N2 の試験への対策を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N2（CEFR B2）レベルの文法の半数程度が運用できるようになる。日本語能力試験 N2 の文法問題が半数程度解答できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『できる日本語中級』第 11 課 使ってみよう 1～2、プリント				
第 2 週/ Week 2	『できる日本語中級』第 11 課 使ってみよう 3～4、プリント				
第 3 週/ Week 3	『できる日本語中級』第 12 課 使ってみよう 1～2、プリント				
第 4 週/ Week 4	『できる日本語中級』第 12 課 使ってみよう 3～4、プリント				
第 5 週/ Week 5	『できる日本語中級』第 13 課 使ってみよう 1～3、プリント				
第 6 週/ Week 6	『できる日本語中級』第 13 課 使ってみよう 4～5、プリント				
第 7 週/ Week 7	『できる日本語中級』第 14 課 使ってみよう 1～3、プリント				
第 8 週/ Week 8	『できる日本語中級』第 14 課 使ってみよう 4～5、プリント				
第 9 週/ Week 9	『できる日本語中級』第 15 課 使ってみよう 1～2、プリント				
第 10 週/ Week 10	『できる日本語中級』第 15 課 使ってみよう 3～4、プリント				
第 11 週/ Week 11	『できる日本語中級』第 16 課 使ってみよう 1～3、プリント				
第 12 週/ Week 12	『できる日本語中級』第 16 課 使ってみよう 4～5、プリント				
第 13 週/ Week 13	『できる日本語中級』第 17 課 使ってみよう 1～3、プリント				
第 14 週/ Week 14	『できる日本語中級』第 17 課 使ってみよう 4～5、プリント				
第 15 週/ Week 15	『できる日本語中級』第 18 課 使ってみよう 1～2、プリント				
第 16 週/ Week 16	『できる日本語中級』第 18 課 使ってみよう 3～4、プリント				
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験ならびに期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『できる日本語 中級』、『日本語能力試験対策 N2 文法総まとめ』（三修社）					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。評価はすべて A～E で評価される。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus					
授業科目 Course Title		上級会話 I		担当教員		氏名/Name				
				Instructor		実務経験（ 有 ・ 無 ）				
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経歴 / Work Experiences		
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択				
授業回数 Number of Classes		17 回		授業時間 Class Hours		1 回につき 90 分				
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences										
日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。										
授業概要（学修内容・方法） / Course Description										
会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。										
授業目的・到達目標 / Course Objective										
実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N2 程度（CEFR B2）の日本語で適切な会話ができるようになる。										
週		授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1		「12. 身近な人に状況を話してアドバイスをもらう」タスク、練習、会話作成、発表								
第 2 週/ Week 2		「12. 身近な人に状況を話してアドバイスをもらう」ワークブック、発表、フィードバック								
第 3 週/ Week 3		「13. 大切にしている物について修理を依頼する」タスク、練習、会話作成、発表								
第 4 週/ Week 4		「13. 大切にしている物について修理を依頼する」ワークブック、発表、フィードバック								
第 5 週/ Week 5		「14. 客からの無理な注文に対して、事情を話し丁寧に対応する」タスク、練習、会話作成、発表								
第 6 週/ Week 6		「14. 客からの無理な注文に対して、事情を話し丁寧に対応する」ワークブック、発表、フィードバック								
第 7 週/ Week 7		「17. 初めて会う人に連絡をして都合を聞きながら会う約束をする」タスク、練習、会話作成、発表								
第 8 週/ Week 8		「17. 初めて会う人に連絡をして都合を聞きながら会う約束をする」ワークブック、発表、フィードバック								
第 9 週/ Week 9		「18. 不要になったものを分かりやすく説明して譲る」タスク、練習、会話作成、発表								
第 10 週/ Week 10		「18. 不要になったものを分かりやすく説明して譲る」ワークブック、発表、フィードバック								
第 11 週/ Week 11		「19. 壊れたものの修理を状況を説明して依頼する」タスク、練習、会話作成、発表								
第 12 週/ Week 12		「19. 壊れたものの修理を状況を説明して依頼する」ワークブック、発表、フィードバック								
第 13 週/ Week 13		「20. 店に希望を伝えて予約する」タスク、練習、会話作成、発表								
第 14 週/ Week 14		「20. 店に希望を伝えて予約する」ワークブック、発表、フィードバック								
第 15 週/ Week 15		総復習								
第 16 週/ Week 16		期末試験								
第 17 週/ Week 17		期末試験フィードバック								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material										
『できる日本語中級』『こんなときどうする?』を使用										
『ことば・表現ワークブック』中級										
成績評価 / Evaluation										
期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。評価はルーブリックを使用する。										
備考 / Memo										

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		上級作文 I		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ・ 無 ）			
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経歴 / Work Experiences	
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択			
授業回数 Number of Classes		34 回		授業時間 Class Hours		1 回につき 50 分			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
日本語ネイティブによって、意見を伝えるのに効果的な文章を生成するのに必要な語彙、表現、文法を教授する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
自分や自分の周り、社会的な問題について、学習者の理解と意見の表出を促す。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
社会における問題の概要を理解できるようになる。また、それぞれの問題に対する考えを仲間と共有することで意見を深め、日本語能力試験 N2（CEFR B2）程度の日本語で、意見を効果的に述べられるようになる。									
週	授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1	『できる日本語中級』 11 課 日本の社会で興味を持ったライフスタイルについて比較と意見								
第 2 週/ Week 2	『できる日本語中級』 11 課 日本の社会で興味を持ったライフスタイルについて比較と意見、フィードバック								
第 3 週/ Week 3	『できる日本語中級』 12 課 自分の生活の記録と気づき								
第 4 週/ Week 4	『できる日本語中級』 12 課 自分の生活の記録と気づき、フィードバック								
第 5 週/ Week 5	『できる日本語中級』 13 課 おすすめの作品を紹介する								
第 6 週/ Week 6	『できる日本語中級』 13 課 おすすめ作品を紹介する、フィードバック								
第 7 週/ Week 7	『できる日本語中級』 14 課 自分の国との違いについて様子や状況を詳しく説明する								
第 8 週/ Week 8	『できる日本語中級』 14 課 自分の国との違いについて様子や状況を詳しく説明する、フィードバック								
第 9 週/ Week 9	『できる日本語中級』 15 課 情報メディアの活用方法と問題								
第 10 週/ Week 10	『できる日本語中級』 15 課 情報メディアの活用方法と問題、フィードバック								
第 11 週/ Week 11	『できる日本語中級』 16 課 日本の学校生活、教育システムについて								
第 12 週/ Week 12	『できる日本語中級』 16 課 日本の学校生活、教育システムについて、フィードバック								
第 13 週/ Week 13	『できる日本語中級』 17 課 依頼のメール								
第 14 週/ Week 14	『できる日本語中級』 17 課 依頼のメール、フィードバック								
第 15 週/ Week 15	総復習								
第 16 週/ Week 16	総復習、期末試験								
第 17 週/ Week 17	期末試験フィードバック								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『できる日本語』 中級									
成績評価 / Evaluation									
期末試験を行い、「作文」の成績として評価を行う。評価はルーブリックを使用する。成績はすべて A～E で評価される。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus					
授業科目 Course Title		上級総合日本語 I		担当教員 Instructor		氏名/Name				
開講時期 Term		前期	配当年次	2 年						
授業形態		講義・ <u>演習</u> ・実習		単位区分		必修・選択		実務経験（ 有 ・ 無 ）		
授業回数 Number of Classes		週 5 回 17 週		授業時間 Class Hours		月曜日～金曜日 1 回につき 90 分		実務経歴 / Work Experiences		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences										
日本語ネイティブによって、高度な語彙・表現や文法、日本社会について議論する上で必要な知識を教授する。										
授業概要（学修内容・方法） / Course Description										
学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーションを多く行う。 各課のテーマによっては生教材を使用し、実際的な日本語の使用場面に触れられるようにする。										
授業目的・到達目標 / Course Objective										
身につけている技能を運用しながら、日本語能力試験 N2～N1 前半程度（CEFR B2）の日本語力を身につける。 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑な文章の主要な内容を理解できる。										
週	授業計画 / Course Schedule									
第 1 週/ Week 1	第 11 課：チャレンジ 1～2、ワークブック									
第 2 週/ Week 2	第 11 課：チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！									
第 3 週/ Week 3	第 12 課：チャレンジ 1～2、ワークブック									
第 4 週/ Week 4	第 12 課：チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！									
第 5 週/ Week 5	第 13 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック									
第 6 週/ Week 6	第 13 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！									
第 7 週/ Week 7	第 14 課：チャレンジ 1～2、ワークブック									
第 8 週/ Week 8	第 14 課：チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！									
第 9 週/ Week 9	第 15 課：確認テスト、チャレンジ 1～2、ワークブック									
第 10 週/ Week 10	第 15 課：チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！									
第 11 週/ Week 11	第 16 課：チャレンジ 1～3、ワークブック									
第 12 週/ Week 12	第 16 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！									
第 13 週/ Week 13	第 17 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック									
第 14 週/ Week 14	第 17 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！									
第 15 週/ Week 15	第 18 課：チャレンジ 1～2、ワークブック									
第 16 週/ Week 16	第 18 課：チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！									
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック									
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material										
『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』、										
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2 課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべて A～E で評価される。プレゼンテーションやグループ活動はループリックを用い、「会話・発表」の成績として A～E で評価される。										
備考 / Memo										

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		能力試験対策 N 3 聴解・発音		担当教員 Instructor		氏名/Name			
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経験（ 有 ・ 無 ）	
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択		実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes		週 3 回 17 週		授業時間 Class Hours		1 回につき 50 分			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3（CEFR B1）の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの会話や談話の聞き取りができるようになり、日本語能力試験 N3 の聴解問題が十分に解答できるようになる。N3 レベルの文法や語彙を用いた文章や会話が自然に発音できるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』1 課							
第 2 週/ Week 2		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』1 課、チェック							
第 3 週/ Week 3		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』2 課							
第 4 週/ Week 4		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』2 課、チェック							
第 5 週/ Week 5		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』3 課							
第 6 週/ Week 6		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』3 課、チェック							
第 7 週/ Week 7		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』4 課							
第 8 週/ Week 8		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』4 課、チェック							
第 9 週/ Week 9		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』5 課							
第 10 週/ Week 10		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』5 課、チェック							
第 11 週/ Week 11		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part3／『できる日本語中級』6 課							
第 12 週/ Week 12		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part3／『できる日本語中級』6 課、チェック							
第 13 週/ Week 13		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part4／『できる日本語中級』7 課							
第 14 週/ Week 14		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part4／『できる日本語中級』7 課、チェック							
第 15 週/ Week 15		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part5／『できる日本語中級』8 課							
第 16 週/ Week 16		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part5／『できる日本語中級』8 課、チェック							
第 17 週/ Week 17		総復習 期末試験 期末試験フィードバック							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『実力アップ！日本語能力試験N 3 「聞く」』、『できる日本語中級』各課の会話やモノログ部分を使用する									
成績評価 / Evaluation									
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。									
備考 / Memo									

授業科目 Course Title		N 3 文字・語彙		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経験（有・無）	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベルの日本語の語彙知識を教授する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文字・語彙が運用できるようになる。日本語能力試験 N3（CEFR B1）の語彙問題が十分に解答できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『日本語総まとめN 3 語彙』第 1 週／『漢字たまご中級』楽しく覚えよう、第 1 課 1				
第 2 週/ Week 2	『日本語総まとめN 3 語彙』第 1 週／『漢字たまご中級』第 1 課 2				
第 3 週/ Week 3	『日本語総まとめN 3 語彙』第 2 週／『漢字たまご中級』第 1 課 3				
第 4 週/ Week 4	『日本語総まとめN 3 語彙』第 2 週／『漢字たまご中級』第 1 課 4				
第 5 週/ Week 5	『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／小テスト『漢字たまご中級』第 2 課 1				
第 6 週/ Week 6	『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／『漢字たまご中級』第 2 課 2				
第 7 週/ Week 7	『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／『漢字たまご中級』第 2 課 3				
第 8 週/ Week 8	『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／『漢字たまご中級』第 2 課 4				
第 9 週/ Week 9	『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／小テスト『漢字たまご中級』第 3 課 1				
第 10 週/ Week 10	『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／『漢字たまご中級』第 3 課 2				
第 11 週/ Week 11	『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／『漢字たまご中級』第 3 課 3				
第 12 週/ Week 12	『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／『漢字たまご中級』第 3 課 4				
第 13 週/ Week 13	『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／小テスト『漢字たまご中級』第 4 課 1				
第 14 週/ Week 14	『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 2				
第 15 週/ Week 15	『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 3				
第 16 週/ Week 16	『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 4				
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『日本語総まとめN 3 語彙』					
『漢字たまご 中級』					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績は A～E で評価される。漢字は 1 課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title	N 3 文法（能力試験対策）		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベル（CEFR B1）の日本語の文法知識を教授し、使えるように指導する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N3～N2（CEFR B1）レベルの文法が運用できるようになる。テキストや問題集を使用し、実際に日常的な場面で使うことができるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	『できる日本語中級』第 1 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 2 週/ Week 2	『できる日本語中級』第 1 課 使ってみよう 4、プリント			
第 3 週/ Week 3	『できる日本語中級』第 2 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 4 週/ Week 4	『できる日本語中級』第 2 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 5 週/ Week 5	『できる日本語中級』第 3 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 6 週/ Week 6	『できる日本語中級』第 3 課 使ってみよう 4、プリント			
第 7 週/ Week 7	『できる日本語中級』第 4 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 8 週/ Week 8	『できる日本語中級』第 4 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 9 週/ Week 9	『できる日本語中級』第 5 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 10 週/ Week 10	『できる日本語中級』第 5 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 11 週/ Week 11	『できる日本語中級』第 6 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 12 週/ Week 12	『できる日本語中級』第 6 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 13 週/ Week 13	『できる日本語中級』第 7 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 14 週/ Week 14	『できる日本語中級』第 7 課 使ってみよう 4、プリント			
第 15 週/ Week 15	『できる日本語中級』第 8 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 16 週/ Week 16	『できる日本語中級』第 8 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『45 日間で基礎からわかる日本語能力試験 N2 文法総まとめ』				
成績評価 / Evaluation				
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		中級会話 I		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ・ 無 ）			
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経歴 / Work Experiences	
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択			
授業回数 Number of Classes		17 回		授業時間 Class Hours		1 回につき 90 分			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N3 程度（CEFR B1）の日本語で適切な会話ができるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」タスク、練習、会話作成、発表							
第 2 週/ Week 2		「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」ワークブック、発表、フィードバック							
第 3 週/ Week 3		「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」タスク、練習、会話作成、発表							
第 4 週/ Week 4		「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」ワークブック、発表、フィードバック							
第 5 週/ Week 5		「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」タスク、練習、会話作成、発表							
第 6 週/ Week 6		「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」ワークブック、発表、フィードバック							
第 7 週/ Week 7		「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」タスク、練習、会話作成、発表							
第 8 週/ Week 8		「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」ワークブック、発表、フィードバック							
第 9 週/ Week 9		「5. けがの状況と今の状態を説明する」タスク、練習、会話作成、発表							
第 10 週/ Week 10		「5. けがの状況と今の状態を説明する」ワークブック、発表、フィードバック							
第 11 週/ Week 11		「6. 体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスする」タスク、練習、会話作成、発表							
第 12 週/ Week 12		「6. 体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスする」ワークブック、発表、フィードバック							
第 13 週/ Week 13		「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」タスク、練習、会話作成、発表							
第 14 週/ Week 14		「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」ワークブック、発表、フィードバック							
第 15 週/ Week 15		総復習							
第 16 週/ Week 16		期末試験							
第 17 週/ Week 17		期末試験フィードバック							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『できる日本語中級』『こんなときどうする?』を使用									
『ことば・表現ワークブック』中級									
成績評価 / Evaluation									
期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。									
備考 / Memo									

授業科目 Course Title	中級作文 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経験（ 有 ・ 無 ）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 50 分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、日本語の自然な文章生成に必要な語彙、表現、文法を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者自身の知識や考えを引き出し、作文の内容に反映させられるようにする。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自分や自分の周り、自国の文化について日本語能力試験 N3（CEFR B1）程度の日本語で紹介できるようになる。。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	『できる日本語中級』1 課 自己紹介文、フィードバック			
第 2 週/ Week 2	『できる日本語中級』1 課 交流会参加体験談、フィードバック			
第 3 週/ Week 3	『できる日本語中級』2 課 買い物エピソード			
第 4 週/ Week 4	『できる日本語中級』2 課 買い物エピソード、フィードバック			
第 5 週/ Week 5	『できる日本語中級』3 課 今の生活を振り返る			
第 6 週/ Week 6	『できる日本語中級』3 課 今の生活を振り返る、フィードバック			
第 7 週/ Week 7	『できる日本語中級』4 課 地域の施設の案内作成、報告書			
第 8 週/ Week 8	『できる日本語中級』4 課 地域の施設の案内作成、報告書 フィードバック			
第 9 週/ Week 9	『できる日本語中級』6 課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文			
第 10 週/ Week 10	『できる日本語中級』6 課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文、フィードバック			
第 11 週/ Week 11	『できる日本語中級』7 課 ボランティアやサークル活動の経験			
第 12 週/ Week 12	『できる日本語中級』7 課 ボランティアやサークル活動の経験、フィードバック			
第 13 週/ Week 13	『できる日本語中級』8 課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える			
第 14 週/ Week 14	『できる日本語中級』8 課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える、フィードバック			
第 15 週/ Week 15	総復習			
第 16 週/ Week 16	総復習 期末試験			
第 17 週/ Week 17	期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「作文」の成績として評価はルーブリックで行う。成績はすべて A～E で評価される。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	中級総合日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（ 有 ・ 無 ）
授業回数 Number of Classes	週 5 回 17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 1 回につき 90 分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、実際の語彙・表現や文法、日本社会で生活する上で必要な知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーション、作文の練習を多く行う。初級よりもまとまった量の対話や長めの文章の読み書きの練習を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
初級で身につけた技能を運用しながら、日本語能力試験 N3、CEFR B1 程度の日本語力を身につける。普段出会うような身近な話題について共通語による話し方ならば主要点が理解できる。身近で個人的に関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた脈絡のある文章を作ることができる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	第 1 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 2 週/ Week 2	第 1 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 3 週/ Week 3	第 2 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 4 週/ Week 4	第 2 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 5 週/ Week 5	第 3 課： 確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 6 週/ Week 6	第 3 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 7 週/ Week 7	第 4 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 8 週/ Week 8	第 4 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 9 週/ Week 9	第 5 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 10 週/ Week 10	第 5 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 11 週/ Week 11	第 6 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 12 週/ Week 12	第 6 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 13 週/ Week 13	第 7 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 14 週/ Week 14	第 7 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 15 週/ Week 15	第 8 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 16 週/ Week 16	第 8 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2 課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべて A～E で評価される。プレゼンテーションやグループ活動はルーブリックを用い、「会話・発表」の成績として A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		N 3 聴解・発音		担当教員 Instructor		氏名/Name			
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経験（ 有 ・ 無 ）	
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択		実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes		週 3 回 17 週		授業時間 Class Hours		1 回につき 50 分			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3（CEFR B1）の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの会話や談話の聞き取りができるようになり、日本語能力試験 N3 の聴解問題が十分に解答できるようになる。N3 レベルの文法や語彙を用いた文章や会話が自然に発音できるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』1 課							
第 2 週/ Week 2		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』1 課、チェック							
第 3 週/ Week 3		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』2 課							
第 4 週/ Week 4		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』2 課、チェック							
第 5 週/ Week 5		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part1／『できる日本語中級』3 課							
第 6 週/ Week 6		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』3 課、チェック							
第 7 週/ Week 7		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』4 課							
第 8 週/ Week 8		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』4 課、チェック							
第 9 週/ Week 9		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』5 課							
第 10 週/ Week 10		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part2／『できる日本語中級』5 課、チェック							
第 11 週/ Week 11		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part3／『できる日本語中級』6 課							
第 12 週/ Week 12		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part3／『できる日本語中級』6 課、チェック							
第 13 週/ Week 13		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part4／『できる日本語中級』7 課							
第 14 週/ Week 14		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part4／『できる日本語中級』7 課、チェック							
第 15 週/ Week 15		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part5／『できる日本語中級』8 課							
第 16 週/ Week 16		『実力アップ！N 3 「聞く」』Part5／『できる日本語中級』8 課、チェック							
第 17 週/ Week 17		総復習 期末試験 期末試験フィードバック							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『実力アップ！日本語能力試験N 3 「聞く」』、『できる日本語中級』各課の会話やモノログ部分を使用する									
成績評価 / Evaluation									
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus					
授業科目 Course Title		N 3 文字・語彙		担当教員 Instructor		氏名/Name				
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年		実務経験（ 有 ・ 無 ）		
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択		実務経歴 / Work Experiences		
授業回数 Number of Classes		34 回		授業時間 Class Hours		1 回につき 90 分				
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences										
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベルの日本語の語彙知識を教授する。										
授業概要（学修内容・方法） / Course Description										
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。										
授業目的・到達目標 / Course Objective										
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文字・語彙が運用できるようになる。日本語能力試験 N3（CEFR B1）の語彙問題が十分に解答できるようになる。										
週		授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1		『日本語総まとめN 3 語彙』第 1 週／『漢字たまご中級』楽しく覚えよう、第 1 課 1								
第 2 週/ Week 2		『日本語総まとめN 3 語彙』第 1 週／『漢字たまご中級』第 1 課 2								
第 3 週/ Week 3		『日本語総まとめN 3 語彙』第 2 週／『漢字たまご中級』第 1 課 3								
第 4 週/ Week 4		『日本語総まとめN 3 語彙』第 2 週／『漢字たまご中級』第 1 課 4								
第 5 週/ Week 5		『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／小テスト『漢字たまご中級』第 2 課 1								
第 6 週/ Week 6		『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／『漢字たまご中級』第 2 課 2								
第 7 週/ Week 7		『日本語総まとめN 3 語彙』第 3 週／『漢字たまご中級』第 2 課 3								
第 8 週/ Week 8		『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／『漢字たまご中級』第 2 課 4								
第 9 週/ Week 9		『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／小テスト『漢字たまご中級』第 3 課 1								
第 10 週/ Week 10		『日本語総まとめN 3 語彙』第 4 週／『漢字たまご中級』第 3 課 2								
第 11 週/ Week 11		『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／『漢字たまご中級』第 3 課 3								
第 12 週/ Week 12		『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／『漢字たまご中級』第 3 課 4								
第 13 週/ Week 13		『日本語総まとめN 3 語彙』第 5 週／小テスト『漢字たまご中級』第 4 課 1								
第 14 週/ Week 14		『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 2								
第 15 週/ Week 15		『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 3								
第 16 週/ Week 16		『日本語総まとめN 3 語彙』第 6 週／『漢字たまご中級』第 4 課 4								
第 17 週/ Week 17		総復習 期末試験 期末試験フィードバック								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material										
『日本語総まとめN 3 語彙』										
『漢字たまご 中級』										
成績評価 / Evaluation										
期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績は A～E で評価される。漢字は 1 課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。										
備考 / Memo										

授業科目 Course Title	N 3 文法		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベル（CEFR B1）の日本語の文法知識を教授し、使えるように指導する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N3～N2（CEFR B1）レベルの文法が運用できるようになる。テキストや問題集を使用し、実際に日常的な場面で使うことができるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	『できる日本語中級』第 1 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 2 週/ Week 2	『できる日本語中級』第 1 課 使ってみよう 4、プリント			
第 3 週/ Week 3	『できる日本語中級』第 2 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 4 週/ Week 4	『できる日本語中級』第 2 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 5 週/ Week 5	『できる日本語中級』第 3 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 6 週/ Week 6	『できる日本語中級』第 3 課 使ってみよう 4、プリント			
第 7 週/ Week 7	『できる日本語中級』第 4 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 8 週/ Week 8	『できる日本語中級』第 4 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 9 週/ Week 9	『できる日本語中級』第 5 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 10 週/ Week 10	『できる日本語中級』第 5 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 11 週/ Week 11	『できる日本語中級』第 6 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 12 週/ Week 12	『できる日本語中級』第 6 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 13 週/ Week 13	『できる日本語中級』第 7 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 14 週/ Week 14	『できる日本語中級』第 7 課 使ってみよう 4、プリント			
第 15 週/ Week 15	『できる日本語中級』第 8 課 使ってみよう 1～3、プリント			
第 16 週/ Week 16	『できる日本語中級』第 8 課 使ってみよう 4～5、プリント			
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『45 日間で基礎からわかる日本語能力試験 N2 文法総まとめ』				
成績評価 / Evaluation				
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		中級会話 I		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ・ 無 ）			
開講時期 Term		前期・後期	配当年次		1 年・2 年		実務経歴 / Work Experiences		
授業形態		講義・演習・実習	単位区分		必修・選択				
授業回数 Number of Classes		17 回	授業時間 Class Hours		1 回につき 90 分				
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N3 程度（CEFR B1）の日本語で適切な会話ができるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」タスク、練習、会話作成、発表							
第 2 週/ Week 2		「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」ワークブック、発表、フィードバック							
第 3 週/ Week 3		「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」タスク、練習、会話作成、発表							
第 4 週/ Week 4		「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」ワークブック、発表、フィードバック							
第 5 週/ Week 5		「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」タスク、練習、会話作成、発表							
第 6 週/ Week 6		「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」ワークブック、発表、フィードバック							
第 7 週/ Week 7		「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」タスク、練習、会話作成、発表							
第 8 週/ Week 8		「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」ワークブック、発表、フィードバック							
第 9 週/ Week 9		「5. けがの状況と今の状態を説明する」タスク、練習、会話作成、発表							
第 10 週/ Week 10		「5. けがの状況と今の状態を説明する」ワークブック、発表、フィードバック							
第 11 週/ Week 11		「6. 体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスする」タスク、練習、会話作成、発表							
第 12 週/ Week 12		「6. 体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスする」ワークブック、発表、フィードバック							
第 13 週/ Week 13		「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」タスク、練習、会話作成、発表							
第 14 週/ Week 14		「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」ワークブック、発表、フィードバック							
第 15 週/ Week 15		総復習							
第 16 週/ Week 16		期末試験							
第 17 週/ Week 17		期末試験フィードバック							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『できる日本語中級』『こんなときどうする?』を使用									
『ことば・表現ワークブック』中級									
成績評価 / Evaluation									
期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。評価はルーブリックを使用する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus					
授業科目 Course Title		中級作文 I		担当教員 Instructor		氏名/Name				
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年・2 年			実務経験（ 有 ・ 無 ）	
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択			実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes		34 回		授業時間 Class Hours		1 回につき 50 分				
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences										
日本語ネイティブによって、日本語の自然な文章生成に必要な語彙、表現、文法を教授する。										
授業概要（学修内容・方法） / Course Description										
学習者自身の知識や考えを引き出し、作文の内容に反映させられるようにする。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。										
授業目的・到達目標 / Course Objective										
自分や自分の周り、自国の文化について日本語能力試験 N3（CEFR B1）程度の日本語で紹介できるようになる。。										
週		授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1		『できる日本語中級』1 課 自己紹介文、フィードバック								
第 2 週/ Week 2		『できる日本語中級』1 課 交流会参加体験談、フィードバック								
第 3 週/ Week 3		『できる日本語中級』2 課 買い物エピソード								
第 4 週/ Week 4		『できる日本語中級』2 課 買い物エピソード、フィードバック								
第 5 週/ Week 5		『できる日本語中級』3 課 今の生活を振り返る								
第 6 週/ Week 6		『できる日本語中級』3 課 今の生活を振り返る、フィードバック								
第 7 週/ Week 7		『できる日本語中級』4 課 地域の施設の案内作成、報告書								
第 8 週/ Week 8		『できる日本語中級』4 課 地域の施設の案内作成、報告書 フィードバック								
第 9 週/ Week 9		『できる日本語中級』6 課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文								
第 10 週/ Week 10		『できる日本語中級』6 課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文、フィードバック								
第 11 週/ Week 11		『できる日本語中級』7 課 ボランティアやサークル活動の経験								
第 12 週/ Week 12		『できる日本語中級』7 課 ボランティアやサークル活動の経験、フィードバック								
第 13 週/ Week 13		『できる日本語中級』8 課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える								
第 14 週/ Week 14		『できる日本語中級』8 課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える、フィードバック								
第 15 週/ Week 15		総復習								
第 16 週/ Week 16		総復習 期末試験								
第 17 週/ Week 17		期末試験フィードバック								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material										
『できる日本語中級』										
成績評価 / Evaluation										
期末試験を行い、「作文」の成績として評価はルーブリックで行う。成績はすべて A～E で評価される。										
備考 / Memo										

授業科目 Course Title	中級総合日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	週 5 回 17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 1 回につき 90 分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、実際の語彙・表現や文法、日本社会で生活する上で必要な知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーション、作文の練習を多く行う。初級よりもまとまった量の対話や長めの文章の読み書きの練習を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
初級で身につけた技能を運用しながら、日本語能力試験 N3、CEFR B1 程度の日本語力を身につける。普段出会うような身近な話題について共通語による話し方ならば主要点が理解できる。身近で個人的に関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた脈絡のある文章を作ることができる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	第 1 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 2 週/ Week 2	第 1 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 3 週/ Week 3	第 2 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 4 週/ Week 4	第 2 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 5 週/ Week 5	第 3 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 6 週/ Week 6	第 3 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 7 週/ Week 7	第 4 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 8 週/ Week 8	第 4 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 9 週/ Week 9	第 5 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 10 週/ Week 10	第 5 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 11 週/ Week 11	第 6 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 12 週/ Week 12	第 6 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 13 週/ Week 13	第 7 課：確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 14 週/ Week 14	第 7 課：チャレンジ 4、知って楽しむ、できる！			
第 15 週/ Week 15	第 8 課：チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 16 週/ Week 16	第 8 課：チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』、				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2 課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべて A～E で評価される。プレゼンテーションやグループ活動はルーブリックを用い、「会話・発表」の成績として A～E で評価される。				
備考 / Memo				

